

科目名	精神看護学実習 Psychiatric Nursing Practice		担当教員 (研究室番号)	長南幸恵（401）他		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次後期	科目区分	専門科目・広域看護学		選択区分	必修	単位数 (時間)	2(60)	授業形態	実習	科目等履修生 オープンクラス	否 否
科目目的	本科目は、精神疾患を抱える人への支援に必要な知識と技術を基盤とし、精神科領域における看護師の役割を理解して、適切な看護実践ができる能力と姿勢を養うことを目的としている。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	D 様々な職種との連携において看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。（技能・表現） E 地域に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（技能・表現） F 地域社会にくらす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。（技能・表現）										
	関連するDP											
到達目標	1. 理論モデルを基にストレングスを含めた患者の全体像を説明できる。 2. 精神疾患のある人との治療的関係を構築できる。 3. 精神疾患のある人の回復過程に応じた看護過程を実践できる。 4. 患者の地域生活への移行における看護の役割、多職種連携、各種療法や社会医療福祉制度を説明できる。 5. 精神看護における倫理的態度や協働性、自律性を涵養できる。											
成績評価方法 (基準)		実習評価表に基づき、実習内容、提出記録、出席状況により目標到達度を点数化し評価する。										
再試験の有無と基準等												
教科書		精神看護学概論、精神看護方法Ⅰ・Ⅱで指定した教科書										
参考書等		適宜提示します。										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		精神看護学概論、精神看護方法Ⅰ・Ⅱで学修した知識や技術を実践で活用します。実際に精神疾患のある人の生活上の困難を理解し、回復過程を支援していきましょう。										
備考		精神看護方法Ⅱを修得していないと履修できません。										
学 習 内 容												
[実習場所] 三重県立こころの医療センター 国立病院機構榊原病院 総合心療センターひなが												
[実習方法概要] 2週間の実習期間において精神疾患のある人を受け持ち、理論モデルを用いた看護過程を展開する。 受け持ち患者とは、関係の開始と終結を明確にしながら治療的関係を構築する。 詳細は、実習要項参照すること。												

学 習 課 題
事前：精神看護に必要な知識や技術を復習してください。

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。